

早いもので新年明けて1カ月が過ぎました。今年は久しぶりの受験生のいる家庭になりました。年始に湯島天神へ合格祈願のお参りに。凄い人混みの中40 - 50分程度並んでようやく境内に入りお参りを済ませました。(後は持っている力を発揮することが出来、少しの運が傾いてくれる様に)

1月下旬の千葉の中学校受験に始まり、2月1日からは都内の受験が続きます。1月の成績は1勝1敗、2月1日午前の受験校が第一志望校ですが分が悪い・・・、この日は自分も休みだったので、昼近くに妻と待ち合わせて校舎前で出待ち。一緒に昼ご飯を食べて、午後の受験校に向かいました。妻の話では、試験に向かう時も後ろを振り返ることもなく校舎に消えて行ったと・・・。(当然緊張していたのもあるのですが・・・)試験後も冴えない顔で出てきたので、合格は難しいかなと思っていました。帰宅してから寝室で横になりながらゆっくりと過ごしていると、4女が半泣き状態でパパ受かった!と走ってきました。小学4年生から塾通い、思ったような成績も残せず、つらい気持ちだったと思いますが、3年間めげずによく通い切りました。本当に報われたという感じです。その後2校受験しましたが、妻の話では校舎に入る際も振り返り、胸を張って歩く姿は頼もしかったと言っていました。この短期間で精神的にも成長したなぁと実感しました。

我が家は4人姉妹ですが、全員がお姉ちゃんの背中を追いかけているのか、中学受験をしております。(勿論本人の希望です)結局4人とも異なる学校に通うことになりましたが、不思議な感じです。中学受験は親が主導しないと始まりませんし、受験校の選択も少なからず親の意向が反映されます。数少ない親と子の共同作業の1つだと思っています。ほっとしたと同時にもうこれで終わりなんだという口スな気分も感じ、なんか複雑です。

